

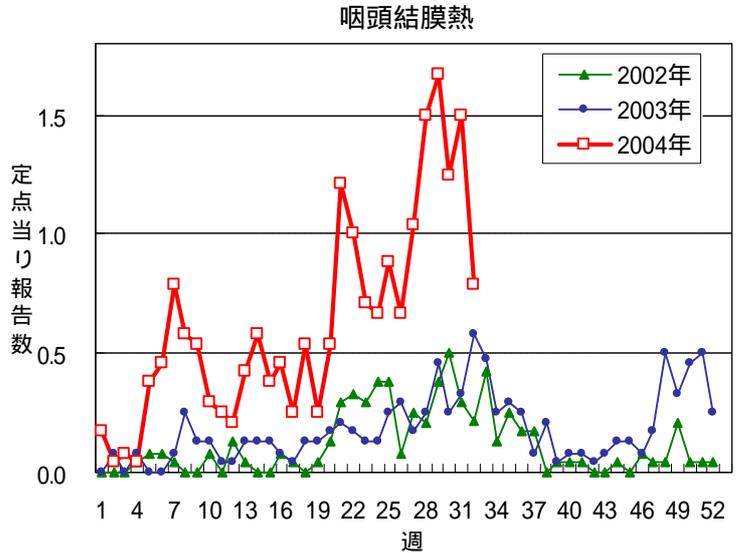
コメント

1. 咽頭結膜熱

定点当り0.79人と減少しています。安佐北区では2.3人と特に多く、安芸区1.5人、中区1.3人となっています。

2. ヘルパンギーナ

定点当り1.88人と減少しており、3週続けて減少しています。安芸区5.5人、東区、佐伯区ともに3.0人となっています。



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去4年間(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去4年間(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	-		麻疹(注3)	2	0.08	0.06	
咽頭結膜熱	19	0.79	0.28	↘	流行性耳下腺炎	16	0.67	1.11	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.67	0.50		RSウイルス感染症	1	0.04		
感染性胃腸炎	69	2.88	2.15	↘	急性出血性結膜炎	-	-	0.28	
水痘	14	0.58	0.73		流行性角結膜炎	6	0.75	2.35	
手足口病	6	0.25	2.15		細菌性髄膜炎	1	0.14	0.04	
伝染性紅斑	9	0.38	0.44		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.86	
突発性発しん	18	0.75	1.06		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	0.04	
ヘルパンギーナ	45	1.88	1.95	↘					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)  
 小児科定点数 24  
 眼科定点数 8  
 性感染症定点数 9  
 基幹定点数 7

(注1) 過去4年間の同時期平均 (定点当り)  
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く  
 (注3) 成人麻疹を除く  
 (注4) オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	18	女性(10歳未満)・O26、男性(10歳代)・O157

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
定点 当り	広島市	第28週	-	1.50	1.08	4.25	1.08	0.13	0.42	0.88	0.04	0.04	5.00	-	0.42	-	0.42	-	-	1.00	-	0.29	0.14	-	-
		第29週	-	1.67	1.08	4.63	0.54	0.25	0.54	1.04	-	-	5.71	-	0.50	-	0.13	0.63	0.14	0.57	-	-	-	-	-
		第30週	-	1.25	0.50	3.17	0.46	0.33	0.33	1.04	0.13	-	3.75	-	0.88	-	-	1.63	-	0.71	-	-	-	-	-
		第31週	-	1.50	0.50	3.58	0.83	0.42	0.25	0.88	0.04	-	2.96	-	0.54	-	-	1.38	-	0.57	-	-	-	-	-
		第32週	-	0.79	0.67	2.88	0.58	0.25	0.38	0.75	-	-	1.88	0.08	0.67	0.04	-	0.75	0.14	0.29	-	-	-	-	-
全国	第30週	-	1.08	0.73	2.47	0.75	1.24	0.29	0.78	0.01	0.01	3.00	0.01	0.94	-	-	0.02	0.96	0.02	0.12	0.22	0.01	-	-	
	第31週	-	1.01	0.65	2.51	0.79	1.30	0.26	0.84	0.02	0.01	2.46	0.01	1.05	-	-	0.03	1.01	0.02	0.13	0.20	0.01	-	-	

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	4	男	2004/06/29	髄液	コクサッキーウイルスB5型
急性脳炎	4	女	2004/07/01	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型
不詳	3	女	2004/07/02	糞便	コクサッキーウイルスA2型

## 【参考】ウエストナイル熱について

現在、米国、カナダでウエストナイル熱が流行しており、特に、ロサンゼルス近郊、アリゾナ州フェニックス、コロラド州で、ウエストナイル熱患者が急増しています。(2004年のアメリカでの患者報告数406名、うち死亡者7名。2004年8月4日検疫所発表)

これらの地域へ渡航される方は、虫除けスプレー、長袖、長ズボン等で蚊に刺されないように注意してください。

ウエストナイル熱 脳炎は、蚊に刺されて感染する病気です。もともとはアフリカや西アジアで発生していましたが、1990年代中ごろからそれまで報告のなかったヨーロッパやアメリカなど西半球で流行するようになりました。なお、現在のところ日本では輸入症例、国内感染の報告はとにもありません。

ウエストナイルウイルスに感染した場合、ほとんどの人は無症状ですが、約2割程度の人ウエストナイル熱になり(潜伏期間は3~15日)、発熱、頭痛、筋肉痛などインフルエンザのような症状がみられ、発しん、リンパ節の腫れなどを伴うこともあります。

しかし、高齢の方や免疫機能の低下している人では、重症化してウエストナイル脳炎などを引き起こす場合があります。(感染した人の約1%が重症化するといわれています。)

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [eiken@city.hiroshima.jp](mailto:eiken@city.hiroshima.jp)

2004年第32週 (8月2日~8月8日)